

NTT 東日本における R & D の取り組み

NTT 東日本の光ブロードバンドサービス「フレッツ光」の契約者数が1,000万契約を突破した。本稿では、急速に変化し続ける市場環境において、世の中の技術動向を的確に捉えながら、質の高いサービスの提供に寄与するNTT 東日本におけるR&Dの取り組みを紹介する。

背景

NTT 東日本は、2001年に「Bフレッツ」をリリースし、「フレッツ光」の展開を開始した。2004年には「ひかり電話」、2008年にはNGNを活用した「フレッツ 光ネクスト」の提供を開始するとともに、順次提供エリアの拡大も行ってきた。その後も映像サービスの「フレッツ・テレビ」、二段階定額制の「フレッツ 光ライト」等、サービスの高速化・低廉化やラインナップの拡充、各企業様とのアライアンス等にも積極的に取り組むことで光の利用シーンの拡大に努め、2013年10月12日に1,000万契約を突破した。

「フレッツ光」をはじめとするIP化、ブロードバンド化の進展とともに、クラウドコンピューティング技術の進展、スマートフォンやタブレット端末の急速な普及など、情報通信市場は大きく変化し続けている。

このような変化をふまえ、NTT 東日本では、インターネット接続やひかり電話などの提供に加え、屋内外におけるWi-Fi端末利用環境の充実や法人向けクラウドサービス、サポートサービスの提供など、新たな

市場開拓についても積極的に取り組んでいる。

NTT 東日本における R&Dの取り組み

NTT 東日本では、持株研究所が基盤的研究開発を行っていることに対し、その研究開発成果や市中の技術・製品を活用した応用的研究開発を行っている。

新サービスやネットワーク強化のための研究開発は、世の中の最新技術動向を的確に捉え、事業を取り巻く環境の変化に対応しながら、タイムリーに進めていく必要がある。NTT 東日本のR&Dでは、新たなサービスや技術の迅速な事業への導入をめざすと同時に、サービスを安心、安全にお使いいただけるよう、総合的な品質の確保、信頼性の向上に努めている。

また、急速な市場環境変化や、多様化する顧客ニーズへ迅速に対応するために、NTT 東日本では2013年7月に組織の見直しを行い、「高度化推進部」、「技術協力センタ」、「ビジネス開発本部」の3組織にてR&Dを行う体制とした。ITイノベーション部は、これらの組織と密接に連携しながら、事業戦略に沿った



東日本電信電話株式会社
ITイノベーション部
部長 大坪 康郎氏

NTT 東日本R&Dの全社戦略を立案、推進するとともに、重点分野へのリソースのシフト、持株研究所における研究開発成果の事業導入推進等のR&Dマネジメントを行っている。

今後もNTT 東日本では、全社トータルでのR&Dを推進し、ブロードバンド・ユビキタス環境の充実と光サービスの利用層拡大に努め、豊かな社会やその持続的な発展に貢献していく。

お問い合わせ先

東日本電信電話株式会社
ITイノベーション部 技術部門
技術戦略担当
TEL : 03-5359-2784